大型ドローン開発加速

加ベンチャーに出資
プロドローン、役員派遣

プロドローンがODMで提供するスカイマティクスの農薬散布用ドローン

プロドローン（名古屋市中区、河野雅一社長、052・950・1278）は、カナダの飛行ロボット（ドローン）開発ベンチャーであるアビドローンに出資し、機体制御技術や大型機材の開発を加速する。株式の3分の1以上を取得し、役員の派遣などを通じ、米国やカナダの市場を開拓。共同で技術開発を進め、新機材の開発につなげる。

プロドローンは現状、ODM（相手先ブランドでの設計生産）を中心に事業を進めているが、10月に自社ブランドのプラットフォーム機を発売。技術開発により自社の製品を拡大する。

プロドローンは三菱商事やKDDI、キャノンマーケティングジャパンなど5社が出資し、ODMを中心にドローンを販売。三菱商事と日立製作所の合弁会社、スカイマティクスに農薬散布のドローンを提供し、三菱商事との連携で販路を広げるなど、実績を積み上げている。

出資したアビドローンは、大型のタンデム機を開発するほか、自律制御の技術などに強みがある。プロドローンでは、アビドローンと提携することで、ドローンの市場が飛躍的に拡大する米国やカナダへの進出を加速。また、大型機の開発や高機能フライトコントローラーなどの開発を進める。

10月には自社ブランドで、汎用性の高いプラットフォーム型のドローンの販売を開始。今後は建設や物流など、事業分野に特化したパッケージ型の機材の開発などを進め、国内外で市場の開拓を進める。

研究開発拠点を集約
味の素グループ4社、川崎に

味の素は国内の主力工場である川崎事業所（川崎市川崎区）内に、新研究開発棟を建設する。研究開発棟は免震構造4階建て、延べ床面積7400平方㍍で12月中に着工、2020年度上期の完成を目指す。

味の素だけでなく、味の素冷凍食品（東京都中央区）、クノール食品（川崎市高津区）、味の素AGF（東京都渋谷区）の子会社3社の研究開発機能もここに集約し、製品の高付加価値化と日本食品の事業構造強化を図る。総投資額は既存施設改修費も含め、60億円。

建物には4社の研究スタッフ約500人が勤務する。うまみ技術やコク味技術、食感改良、原料加工など各社が持つ技術を1カ所に集約することで外食・中食市場の多様なニーズにこたえ、家庭用製品の開発も加速する。

川崎事業所には、ビジネス提携先と共同研究を行う「クライアント・イノベーションセンター」も18年6月に開設予定で、相乗効果で研究開発加速を図る。

シワ改善する薬用美容液
ポーラ、年明け値下げ

ポーラ・オルビスグループのポーラ（東京都品川区）は、2018年1月1日にシワの改善を狙った薬用美容液「ポーラ リンクル ショット メディカル セラム」の消費税抜きの価格を従来より1500円安い1万3500円に改定する。

同商品は超高価格帯だが、売り上げが好調に推移しており、生産効率が向上し製造コスト低減が可能になった。

17年1月の発売以来、1万5000円（消費税抜き価格）で販売していた。9月までの累計販売実績は約80万個で、売り上げは約112億円となった。17年の年間売り上げ目標125億円を上回る勢いで推移しているという。

約25％が新規購入者で、ポーラブランドとの接点拡大にも寄与している。

アラスカからLNG購入
東ガス、米社と検討開始

東京ガスは5日、米アラスカガスライン開発公社が推進する液化天然ガス（LNG）プロジェクトからLNGを購入する検討を始めたと発表した。両社は関心表明書を締結した。東ガスは原材料調達を多様化し、安定供給につなげる。今後も海外での上流事業を拡大する。

同プロジェクトは、アラスカガスライン開発公社が、アラスカ州ノースロープガス田から産出された天然ガスを精製した後、ニキスキLNG基地に輸送し液化する。年間約200万㌧のLNGを生産する。

アラスカガスライン開発公社はアラスカ州政府が100％出資する。

東ガスはアラスカ州と関係が深い。1969年11月に初めてLNGを導入したのがアラスカ州のプロジェクトだったという。

隠し味は紅茶キノコ

大泉工場がいなりずし

大泉工場（埼玉県川口市、大泉寛太郎社長、048・222・1171）は、コンブチャを調味料に使用したいなりずし「KOMBUCHA INARI（コンブチャイナリ）」を開発、東京・西麻布の直営店「大泉工場NISHIAZABU」で販売を始めた。

発酵した紅茶キノコである「コンブチャ」を味付けに使用、具材も豊富で「コンブチャの香りとさまざまな食材の食感が楽しめる」という。価格は2個で消費税込み600円。同社は訪日外国人の需要も見込んでいる。（さいたま）

日本の「快適」世界に

TOTO ②

挑戦する企業

トイレに「陶器」の美しさ

こだわりで「文化」を変える

一見すると真っ白い塊のようで、凹凸はなく、ボタンもセンサーも見あたらない―。TOTOのトイレで旗艦商品となる「ネオレストNX」は、トイレというよりも陶器そのものに見える。「一般の人はトイレにデザインがあることすら知らない。そこをいかに格好よくしていくか」。デザインを担当した吉岡佑一は仕事の醍醐味を語る。

若手が集結

開発プロジェクトには吉岡らデザイナーをはじめ、開発や商品企画、研究所の各部門の若手が集められた。その一人で温水洗浄便座「ウォシュレット」の開発を担当した庭野祥子は、「創業100周年に発売する『ネオレスト』への期待に応えられるのか苦しんだ」と当初を振り返る。空間をコーディネートするという発想で、存在感を主張しないトイレにしようと考えた末、上層部から強烈な〝ダメ出し〟を受けたこともあった。

重苦しい雰囲気を打破

機能面には培った技術や仕事の醍醐味を語る。

若手が集結

開発プロジェクトには吉岡らデザイナーをはじめ、開発や商品企画、研究所の各部門の若手が集結。

重苦しい雰囲気を打破

機能面には培った技術や仕事の醍醐味を語る。

若手が集結

開発プロジェクトには吉岡らデザイナーをはじめ、開発や商品企画、研究所の各部門の若手が集結。

重苦しい雰囲気を打破

機能面には培った技術や仕事の醍醐味を語る。

若手が集結

開発プロジェクトには吉岡らデザイナーをはじめ、開発や商品企画、研究所の各部門の若手が集結。

重苦しい雰囲気を打破

機能面には培った技術や仕事の醍醐味を語る。

若手が集結

開発プロジェクトには吉岡らデザイナーをはじめ、開発や商品企画、研究所の各部門の若手が集結。

重苦しい雰囲気を打破

機能面には培った技術や仕事の醍醐味を語る。

若手が集結

開発プロジェクトには吉岡らデザイナーをはじめ、開発や商品企画、研究所の各部門の若手が集結。

重苦しい雰囲気を打破

機能面には培った技術や仕事の醍醐味を語る。

若手が集結

開発プロジェクトには吉岡らデザイナーをはじめ、開発や商品企画、研究所の各部門の若手が集結。

重苦しい雰囲気を打破

機能面には培った技術や仕事の醍醐味を語る。

若手が集結

開発プロジェクトには吉岡らデザイナーをはじめ、開発や商品企画、研究所の各部門の若手が集結。

重苦しい雰囲気を打破

機能面には培った技術や仕事の醍醐味を語る。

若手が集結

開発プロジェクトには吉岡らデザイナーをはじめ、開発や商品企画、研究所の各部門の若手が集結。

重苦しい雰囲気を打破

機能面には培った技術や仕事の醍醐味を語る。

若手が集結

開発プロジェクトには吉岡らデザイナーをはじめ、開発や商品企画、研究所の各部門の若手が集結。

重苦しい雰囲気を打破

機能面には培った技術や仕事の醍醐味を語る。

若手が集結

開発プロジェクトには吉岡らデザイナーをはじめ、開発や商品企画、研究所の各部門の若手が集結。

重苦しい雰囲気を打破

機能面には培った技術

「ネオレストNX」と開発者、デザイナー（左端が吉岡さん、右端が庭野さん）

便器後方に勢いよく水が当たるため汚れが落ちやすくなったほか、正面から吐水口が見えなくなり、見た目もすっきりした。返しがないことで掃除もしやすくなった。陶器の焼成後に生じる誤差に対応するためフタの合わせ方も工夫。庭野は「便器のふたもスーっと開いてピタっと止まる」と胸を張る。

「小さな点にもこだわり、決して手を抜かない。だから文化を変えていける」（庭野）。NXの開発は、そんなTOTOの姿勢を象徴する製品でもある。（敬称略）

間ができる」（吉岡）という逆転の発想で、陶器の美しさにこだわることにした。

培った技術投入

機能面には培った技術を惜しみなく投入した。便器内部のボウル（便鉢）は、おわんのような理想の形を実現するために新しい洗浄方式を開発。吐水口の位置を変え、便器のふちの〝返し〟もなくした。

1時間でネオレストNXの原型となるCGを描き上げて提示。メンバーから満場一致で賛意を得て、再びプロジェクトは動きだした。「モノに魅力があれば、魅力的な空間ができる」（吉岡）という発想で、存在感を主張しないトイレにしようと考えた末、上層部から強烈な〝ダメ出し〟を受けたこともあった。

重苦しい雰囲気を打破

機能面には培った技術を惜しみなく投入した。便器内部のボウル（便鉢）は、おわんのような理想の形を実現するために新しい洗浄方式を開発。吐水口の位置を変え、便器のふちの〝返し〟もなくした。

めた。その一人で温水洗浄便座「ウォシュレット」の開発を担当した庭野祥子は、「創業100周年に発売する『ネオレスト』への期待に応えられるのか苦しんだ」と当初を振り返る。空間をコーディネートするという発想で、存在感を主張しないトイレにしようと考えた末、上層部から強烈な〝ダメ出し〟を受けたこともあった。

重苦しい雰囲気を打破

機能面には培った技術を惜しみなく投入した。便器内部のボウル（便鉢）は、おわんのような理想の形を実現するために新しい洗浄方式を開発。吐水口の位置を変え、便器のふちの〝返し〟もなくした。

セブン・日立

CO2削減などで協業
店舗のエネデータ活用

セブンーイレブン・ジャパンと日立製作所は5日、店舗の電力使用量や設備の稼働状況などエネルギーデータの活用で協業すると発表した。第1弾として、セブンーイレブンはエネルギー使用量や二酸化炭素（CO2）排出量削減に関する報告書類に関する業務を、日立に委託する。

日立はセブンーイレブンの全店舗の電力使用量や省エネ施策の効果といったデータを収集、一元管理するデータベースを構築し、行政への報告書類に関する業務を代行する。

日立が持つ制御や運用に関する技術やIoT（モノのインターネット）プラットフォームを生かし、両社は人工知能（AI）を活用した設備の保守計画やレイアウトを含めた新たな店舗のあり方についても検討する考えだ。

セブンーイレブンの国内店舗数は11月末時点で1万9970。店舗数とともに増えるエネルギー総使用量やCO2排出量の削減に向け、検討してきた。

伊藤園「年月表示」飲料拡大

伊藤園は「お～いお茶」ブランドをはじめとした飲料や茶葉製品について、賞味期限の年月日表示から年月表示への切り替えを2018年1月から加速する。

食品ロスの軽減と、物流効率化による二酸化炭素（CO2）排出量削減が狙い。今回の取り組みで、全アイテムの約8割が年月日から年月表示に切り替わり、店舗や倉庫で管理対象ロットが減ることにより生産性も向上できる。

伊藤園は13年4月にミネラルウオーターで年月表示への切り替えをスタートし、17年9月に対象を賞味期限1年以上の飲料へ広げた。

飲料業界ではサントリー食品インターナショナルやキリンビバレッジ、アサヒ飲料なども同様の取り組みを進めている。

ヒアルロン酸入り缶チューハイ
サッポロビール

サッポロビールは、缶チューハイ「サッポロ キレートレモンサワーヒアルロン酸プラス＝写真」を、2018年1月23日に発売する。キレートレモンサワーは1缶（350㍉㍑）にクエン酸2000㍉㌘とビタミンC200㍉㌘が入っているが、今回さらにヒアルロン酸を10㍉㌘加えた。肌の潤いを保つ成分イメージで、乾燥肌を気にする女性らの需要を訴求。アルコール分は5％、果汁10％でやわらかな飲み口に仕上げた。350㍉㍑缶で、消費税抜き価格は160円。

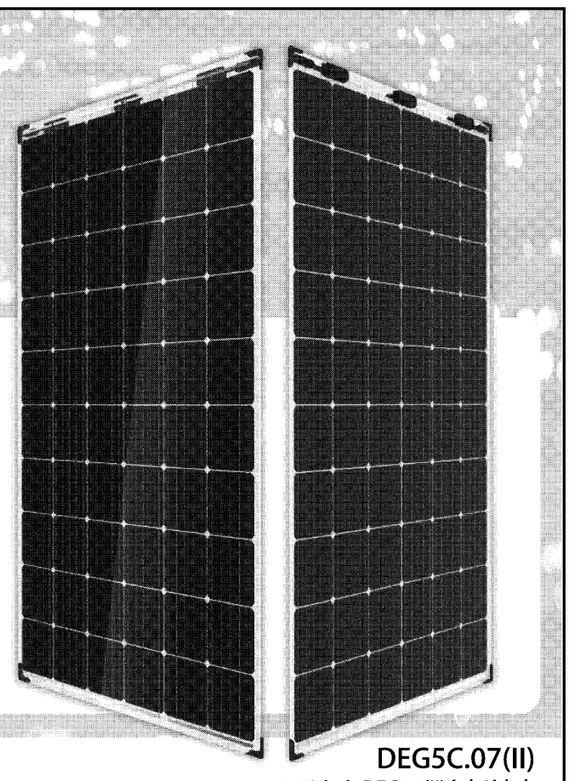
メラミン化粧板ベトナムで生産
アイカ工業

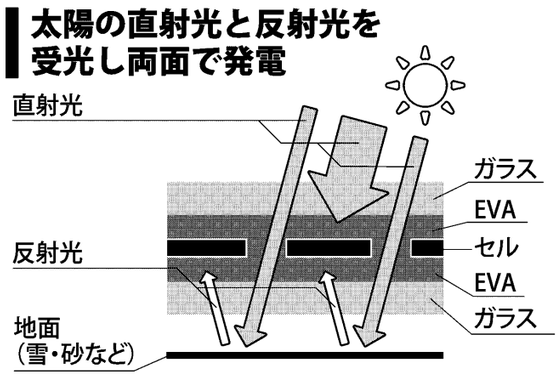
【名古屋】アイカ工業は12月中旬にベトナム・ドンナイ省に全額出資子会社を設立、2019年4月からメラミン化粧板やメラミン不燃化粧板を生産する。東南アジアの店舗やホテルなどの内装材向けに拡販する。

アイカ工業の海外工場はインドネシア、インドに続いて3カ国目で、海外での生産能力を1・3倍に引き上げる。投資額は約22億円。

新会社「アイカ・ラミネーツ・ベトナム」の資本金は約22億4000万円。新工場は同省のニョンチャック3工業団地で18年4月に着工する。耐久性や耐薬品性、デザイン性などに優れた高付加価値品として、ベトナムやタイなどで売り込む。

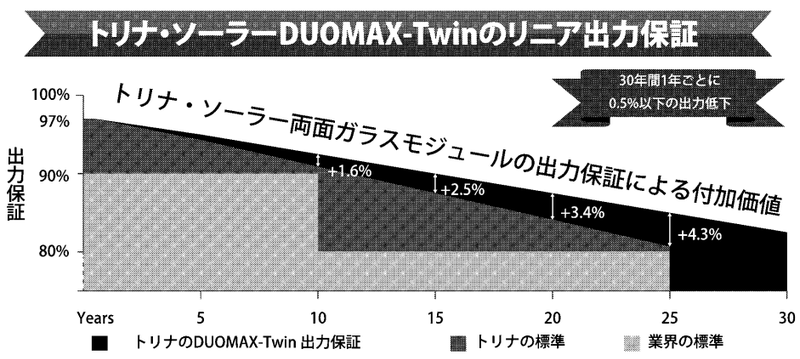
DUOMAX twin
両面ガラス両面発電型モジュール
耐久性に優れたDUOMAXの
両面発電型モジュール
○ 表面の発電量に加えて裏面でも受光し発電するので年間発電量がアップ（5～25%）
○ 水上設置や積雪地帯で実力発揮
○ 設置角度を気にしないで設置可能
○ 垂直設置でフェンスなどへの用途が拡大
○ 設置実績が1Gw以上の耐久性に優れた両面ガラス構造（DUOMAX）なので高信頼性



太陽の直射光と反射光を受光し両面で発電


DEG5C.07(II)
※72セル DEG14(II)もあります。

高出力
低いLCOE
幅広い用途
厳しい環境にも適応

トリナ・ソーラーDUOMAX-Twinのリニア出力保証


60セル 単結晶モジュール
290-310W 出力範囲（表面）
裏面の出力は設置環境によります。
18.6% 最大変換効率
表面（受光面）のみの数値で裏面分は含んでいません。
0~+5 出力許容公差

Trinasolar
トリナ・ソーラー・ジャパン株式会社
〒105-6121 東京都港区浜松町2丁目4番1号 世界貿易センタービル 21F
☎ 03-3437-7000
www.trinasolar.com
trinasolar